



写真1：ポスター発表会場の様子

白神山地の一部が世界遺産としてユネスコで認定されてから、はや23年の歳月が過ぎました。それ以来、八峰町では各分野で世界遺産を守るための活動をしています。最近ではジオパークとしての地形・地質を含めた活動が加えられ、白神山地と海に抱かれた「八峰白神ジオパーク」を日本ジオパークに申請したところ、4年前に正式に認定されました。この事についてはすでにお知らせした通りです。

### 八峰白神ジオパークまでの道のり

さて、去る5月22日から26日まで、千葉県にある幕張メッセで開催された日本地球惑星科学連合2016年大会で、本ジオパークはポスター発表を行いました。発表部門名は「ジオパークへ行こう」で、この部門には全国から47作品が発表されました。その中の一つとして、本ジオパークのポスター「白神山地世界遺産からジオパークへの道のり」を発表してきました。

### 前提活動の紹介

これまでの当ジオパーク活動を省みると無から突然でき上がった

ものではなく、すでにジオパークの理念に通じた活動が行われてきました。

春秋林道建設中止の後、自然志向が人々の間に広まり、それが世界遺産認定へとつながっていきました。続いて地域在住の人々が中心となり遺産地域を守るために遺産地域周辺にブナの森を再生する活動が始まりました。これがNPO法人白神ネイチャー協会です。

また、一般の方々に白神山地の自然の素晴らしさを理解していただくために八峰町白神ガイドの会が設立され、訪れる人々に白神山地の素晴らしさを伝える活動を行っています。

このガイドの資格を得るためには所定の講座を受けなければなりません。講座の中には動物・植物のほか地形・地質の内容が既に含まれていたのです。

つまり、白神山地の自然をまるごと学習していたことになっていたので、このことは、ジオパークの理念に合致していたのです。

このような経過を本大会で発表してきました。



写真3：山地と海の間わりを研修する



写真2：発表したポスター

八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

〒01882632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086